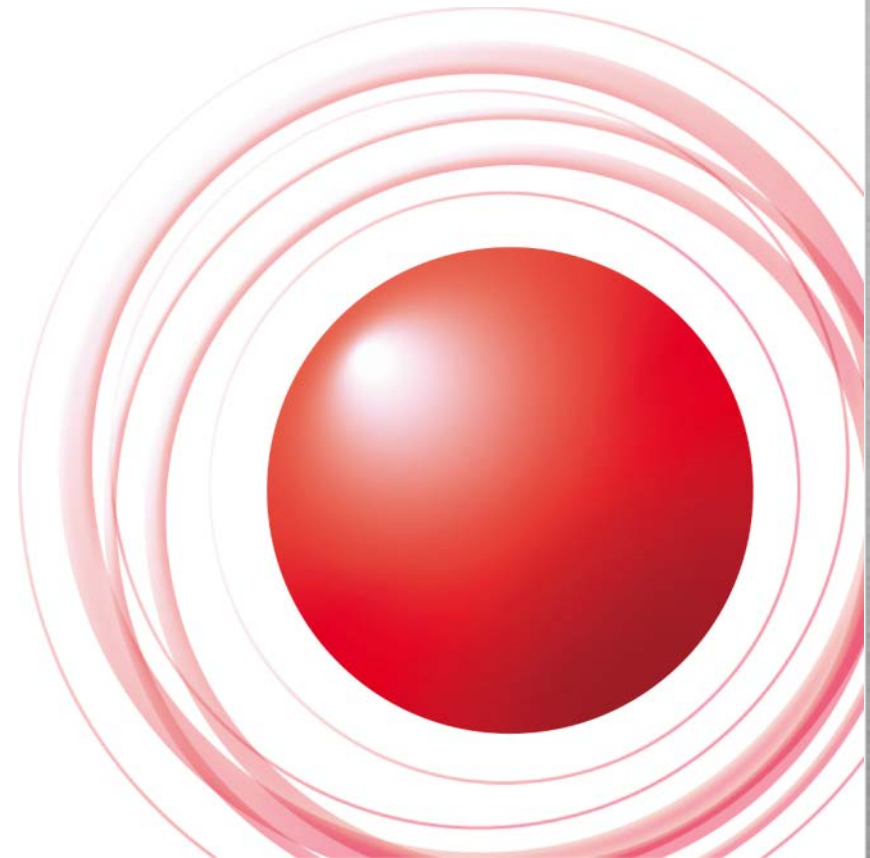


2016年3月期 第1四半期 連結業績説明会



株式会社インターネットイニシアティブ (証券コード: 3774)
2015年8月7日(金)

Ongoing Innovation



アジェンダ

I . 2016年3月期 第1四半期 総括

II . 2016年3月期 第1四半期 連結業績

III . ご参考資料

I. 2016年3月期 第1四半期 総括

	<2016年3月期 第1四半期 実績>		<2016年3月期 通期 見通し>		%:前年同期比増減 YoY:前年同期比 QoQ:前四半期比
売上高	314.6億円	+14.2%	1,390億円	+13.0%	
売上総利益	56.6億円	+13.2%	251億円	+13.7%	
営業利益	11.4億円	+48.5%	65億円	+28.1%	
当期純利益	7.2億円	+46.8%	40億円	+20.4%	

< 3ヶ月増収率 1Q15 14.2% (4Q14 11.7%、3Q14 8.2%) と1Q順調スタート >

モバイルサービス 個人・法人共に継続伸張

(※)2015/6末回線数

- 総回線数 81.1万^(※)(+13.8万QoQ)、年内100万回線目標に向け順調進捗
- 個人モバイル回線数 52.7万^(※)(+9.7万QoQ) 新料金プラン・新年度で増加、MVNE 10.4万^(※)(+3.6万QoQ) CATV40社超・他社も継続拡大
- 7月よりイオン全国209店舗でMNP即日開通受付開始、販路拡大を継続推進
- MVNOデータ通信料 前年比15%減で費用計上、1QでFY14利用分遡及減額計上約△2.7億円 (FY14は2Qで約△2.9億円との実績)

システム運用保守順調積み上げ、売上加速

- プライベートクラウド含みSI運用保守売上+23.5% YoY
- システム構築も大口NI案件(約21億円)受注他で、システム構築及び機器販売受注額 +44.1% YoY

継続成長の基となる注力サービス開発、秋より提供開始

- プライベートとパブリックを融合した新クラウドサービス「IIJ GIO インフラストラクチャーP2」
- SDN/NFV技術でクラウド基盤を活用した新ネットワークサービス「IIJ Omnibus サービス」

セキュリティサービスへの需要拡大、標的型攻撃・インシデント等へ対応

- 大手銀行・官公庁トップクラスシェアのDDoS対策サービス他、多層的なセキュリティサービス・ソリューションのラインアップ
- “IIJ統合セキュリティ運用ソリューション”提供開始(2015/7)で、需要取り込み強化

国際事業 アジア展開を継続注力

- 1Q15 売上 約12億円、損失 約△2.2億円 (1Q14 売上 約12億円、損失 約△2.3億円)
- 下期のコンテナDC販売案件を遂行中、インドネシアクラウド(JV+子会社)順調立ち上げ等アジア展開を強化中

事業拡大に向けた継続的な成長投資

- 4月入社新卒社員数 FY15 155名 (FY14 129名、FY13 136名)、連結人件関連費用 +13.5% YoY、営業費用 +13.2% YoY

Ⅱ-1. 2016年3月期 第1四半期 連結実績サマリー

単位: 億円

	売上高比	売上高比	前年同期比 増減	売上高比	前期比 増減
	1Q15 (15/4~15/6)	1Q14 (14/4~14/6)		FY15見通し (15/4~16/3)	
売上高	314.6	275.5	+14.2%	1,390	+13.0%
売上原価	82.0% 258.1	81.9% 225.5	+14.4%	81.9% 1,139	+12.8%
売上総利益	18.0% 56.6	18.1% 50.0	+13.2%	18.1% 251	+13.7%
販売管理費等	14.4% 45.2	15.4% 42.3	+6.8%	13.4% 186	+9.4%
営業利益	3.6% 11.4	2.8% 7.7	+48.5%	4.7% 65	+28.1%
税引前 四半期純利益	4.1% 12.8	3.0% 8.3	+54.5%	4.6% 64	+24.5%
当社株主に帰属する 四半期純利益	2.3% 7.2	1.8% 4.9	+46.8%	2.9% 40	+20.4%

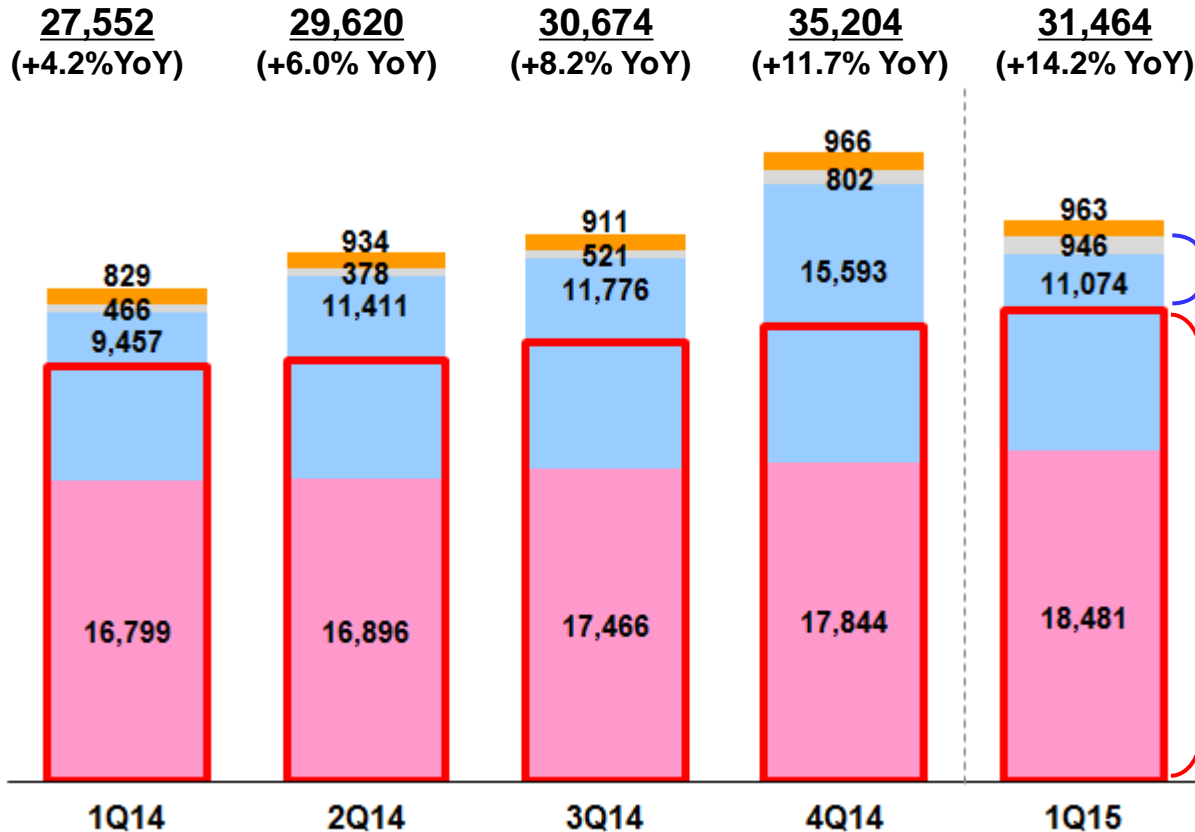
Ⅱ-2. 営業収益(売上高)の推移

単位: 百万円

YoY=前年同期比



FY14: 123,050



一時売上*

1Q15: 4,148百万円 (+16.8% YoY)
(1Q15: 売上構成比: 13.2%)

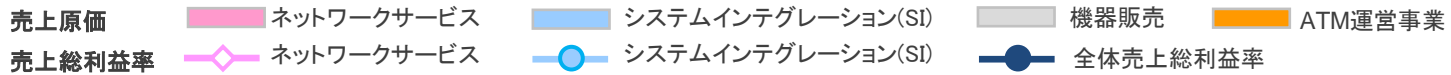
- * 検収時(システムが完成し引き渡すタイミング)に一括計上される売上
- ①SI構築
 - ②機器販売

ストック売上*

1Q15: 26,352百万円 (+13.7% YoY)
(1Q15: 売上構成比: 83.8%)

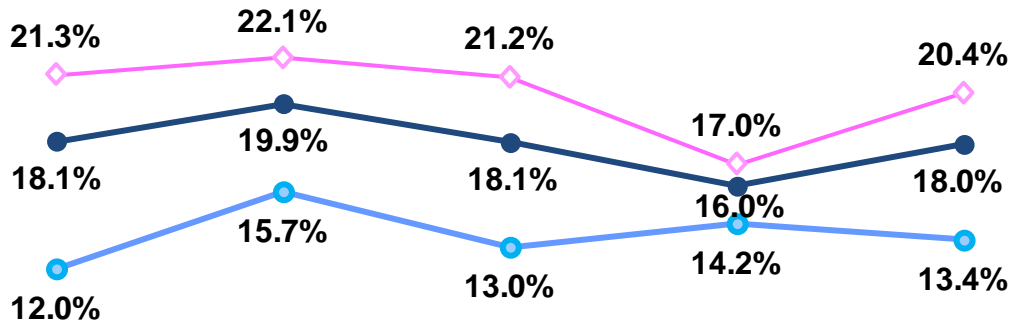
- * 継続提供にて月次計上される恒常的売上
- ①インターネット接続サービス(法人・個人)
 - ②アウトソーシングサービス
 - ③WANサービス
 - ④SI運用保守

Ⅱ-3. 売上原価・売上総利益率の推移



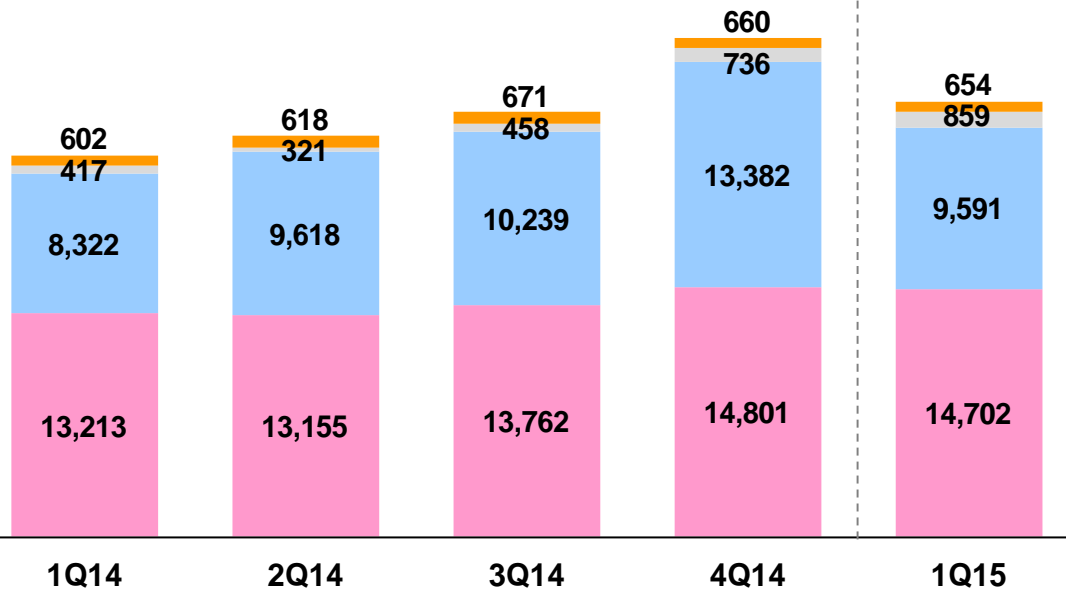
単位: 百万円

YoY=前年同期比



FY14: 100,978

22,554 23,713 25,130 29,580 25,805



1Q15売上総利益

◆ 全体

- 売上総利益: 5,658百万円
(+661百万円・+13.2% YoY)
- 売上総利益率: 18.0%(Δ0.1ポイント YoY)

◆ ネットワークサービス

- 売上総利益: 3,779百万円
(+193百万円・+5.4% YoY)
- 売上総利益率: 20.4%(Δ0.9ポイント YoY)

◆ SI

- 売上総利益: 1,483百万円
(+347百万円・+30.6% YoY)
- 売上総利益率: 13.4%(+1.4ポイント YoY)

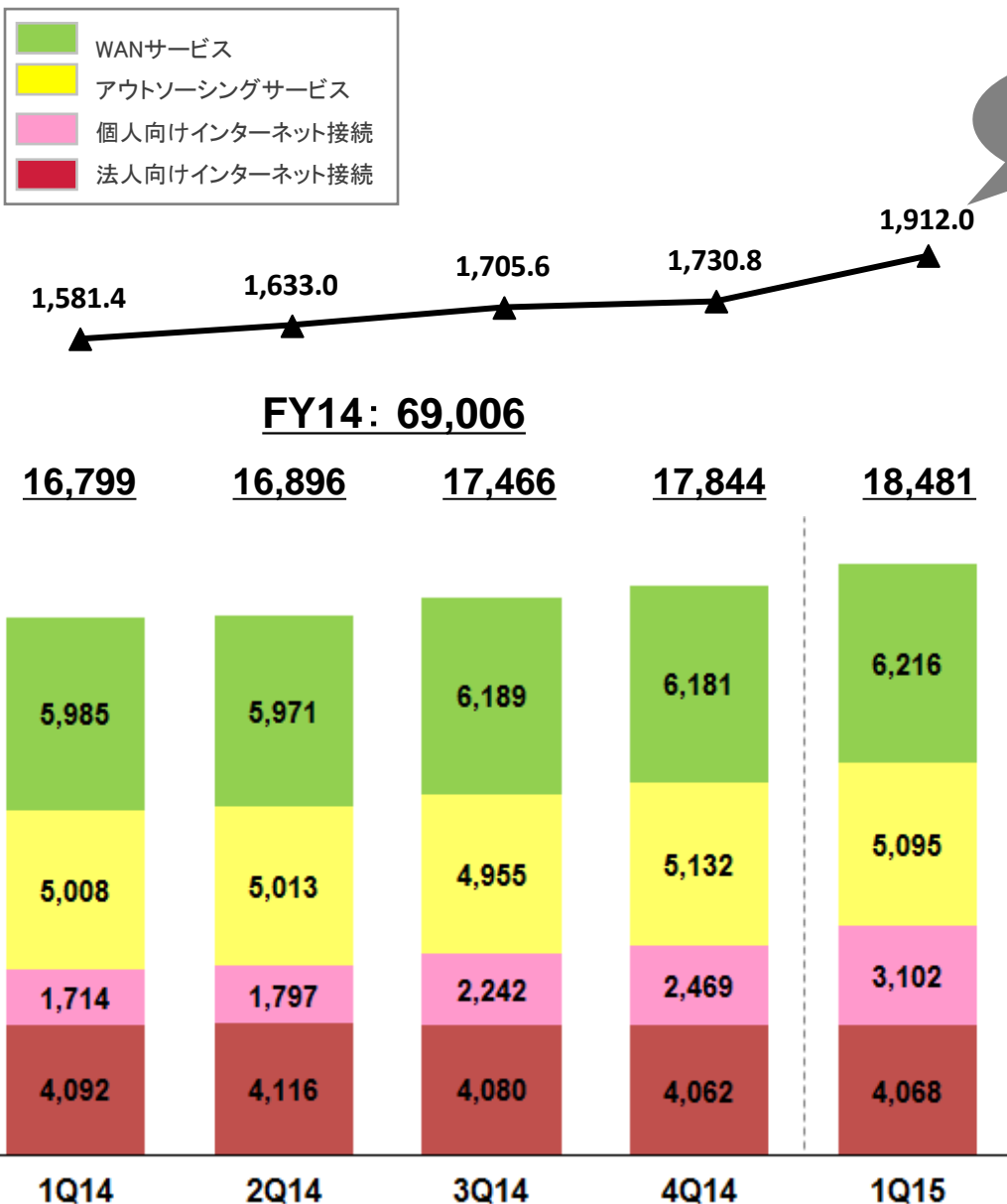
◆ ATM運営事業

- 売上総利益: 310百万円
(+83百万円・+36.4% YoY)
- 売上総利益率: 32.1%(+4.8ポイント YoY)

Ⅱ-4. ネットワークサービス ① 売上高の推移

単位: 百万円

YoY=前年同期比
QoQ=前四半期比



契約総帯域 (Gbps)

◆ 法人向けインターネット接続

- 4,068百万円(△25百万円・△0.6% YoY)
- モバイルサービス売上継続増加
- 1Q15末Gbps超契約件数: 334件
(1Q14末: 284件、4Q14末: 340件)

◆ 個人向けインターネット接続

- 3,102百万円(+1,388百万円・+81.0% YoY)
- IIJmio高速モバイルサービスの拡大継続
- 1Q15末回線数: 52.7万(+31.0万YoY・+9.7万QoQ)
- 1Q15売上: 20.9億円(+14.0億円YoY・+5.8億円QoQ)

◆ アウトソーシングサービス

- 5,095百万円(+87百万円・+1.7% YoY)
- ゲーム系顧客のクラウド売上はQoQ減収

◆ WANサービス

- 6,216百万円(+231百万円・+3.9% YoY)
- 期初の大口顧客減額特になし

Ⅱ-4. ネットワークサービス ② 原価の推移

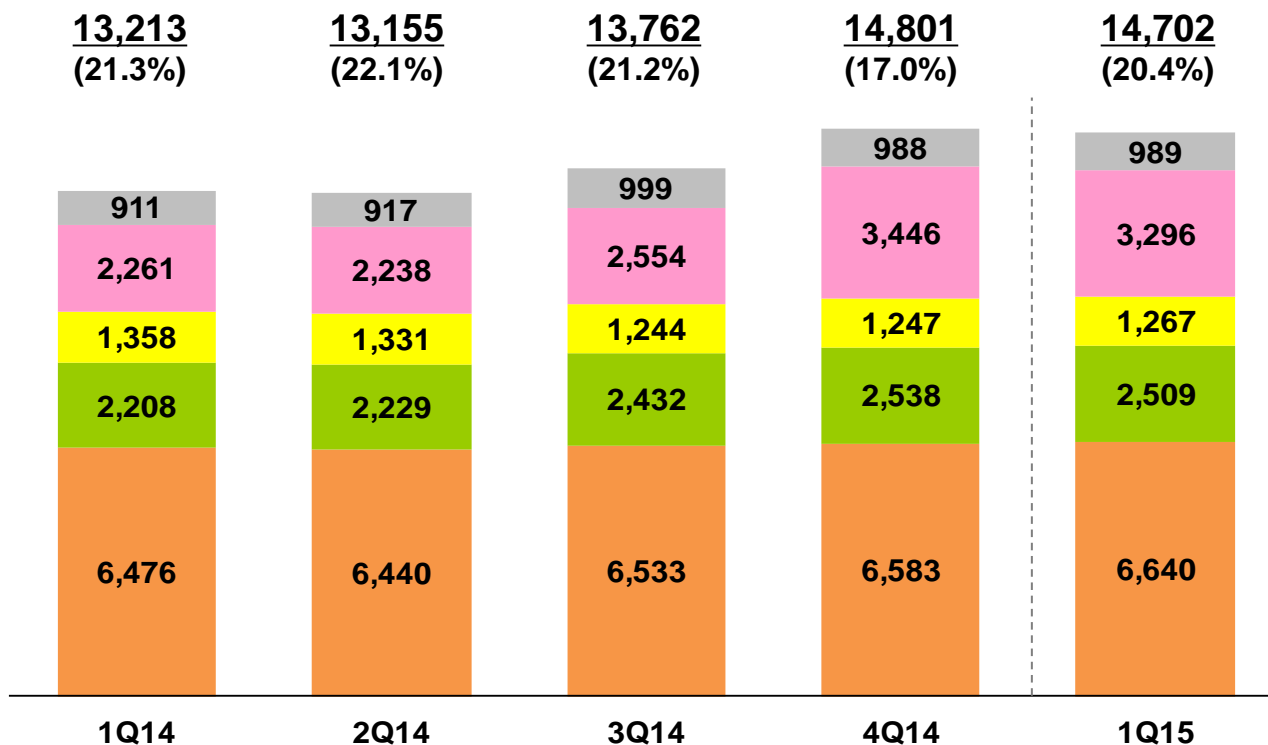
FY14: 54,932 (20.4%)

単位: 百万円

YoY=前年同期比

() 売上総利益率

その他
 外注関連
 人件関連
 設備関連
 回線関連

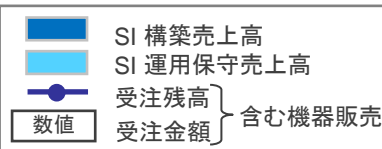
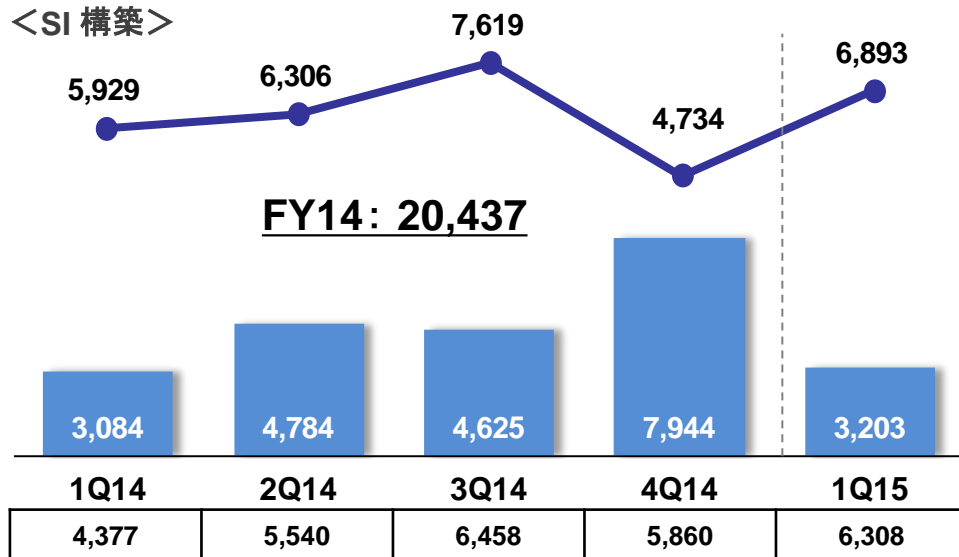


◆ 1Q15ネットワークサービス原価: +1,489百万円・+11.3% YoY

- モバイル契約回線数・トラフィック増加に伴い、モバイル接続料(外注関連)増加
- MVNOに係わるデータ通信料(MNOの提供するモバイルインフラコスト)の取り扱い等
 - FY2013費用実績に基づく定額通信料(帯域単価)は2015/3に前年比23.5%減と改定
 - FY2014費用実績に基づく定額通信料は2016/3頃に改定予定、FY2015にて期初より定額通信料前年比25%減との支払い猶予運営
 - FY2015 IIJ利用データ通信料は過去実績等をもとに定額通信料前年比15%減想定で費用処理
 - FY2014 IIJ利用データ通信料について定額通信料の前年比15%減想定で1Q15にて約2.7億円の一時的費用減有り、FY2014においては2Q14にて約2.9億円の同様費用減との実績
- 回線関連費はWAN売上増加等より、+1.6億円 YoY

Ⅱ-5. システムインテグレーション(SI) ① 売上高・受注等の推移

<SI 構築>



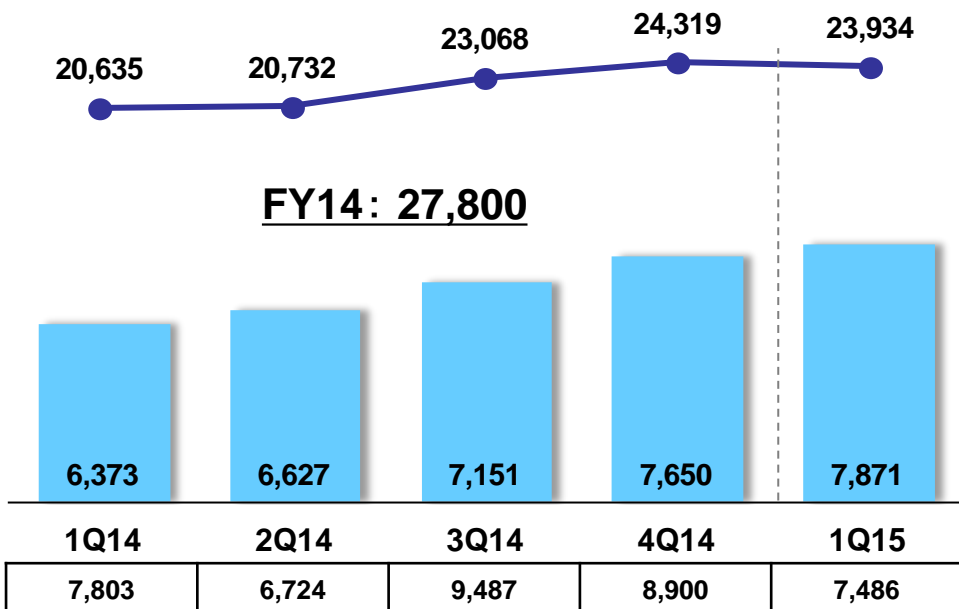
SI 構築売上高

- ◆ 1Q15売上: +118百万円・+3.8% YoY
- ◆ 1Q15受注: +1,930百万円・+44.1% YoY
- ◆ 案件規模拡大し、売上増加

>1Q15受注の大型SI案件:

- ・大口ネットワークインテグレーション案件(約21億円/件)
- ・新規MVNO参入者向けサービスプラットフォーム及び会員管理・課金システム等の構築
- ・大手小売事業者向けインターネットゲートウェイ更改
- ・大手サービス事業者向けハイブリッドクラウドシステム構築など多数

<SI 運用保守>



SI 運用保守売上高

- ◆ 1Q15売上: +1,498百万円・+23.5% YoY
- >3Q14より竜巧社ネットウエアの売上(1Q15: 352百万円)加算
- >1Q15クラウド関連売上全体の85%がSI運用保守に計上(15%はアウトソーシングに計上)
- >システム構築からの運用案件売上寄与にて伸長

<国際事業>

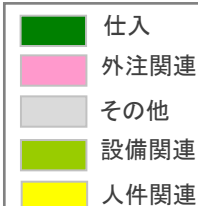
- 1Q15売上: 約12億円(1Q14同水準)
- ゲーム系顧客の売上減を一般事業法人でカバー

Ⅱ-5. システムインテグレーション(SI) ② 原価の推移

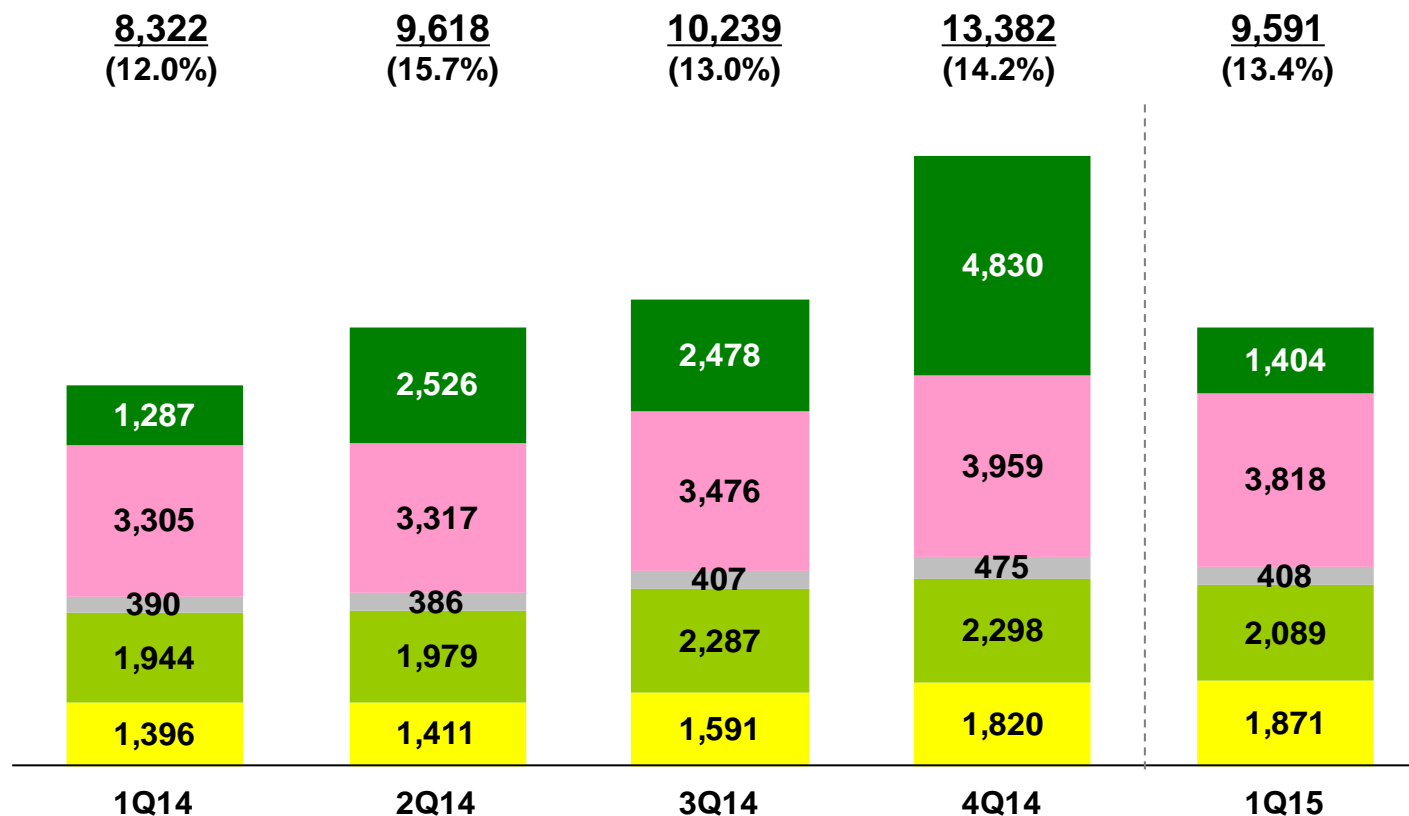
単位: 百万円

YoY=前年同期比
QoQ=前四半期比

() 売上総利益率



FY14: 41,562 (13.8%)



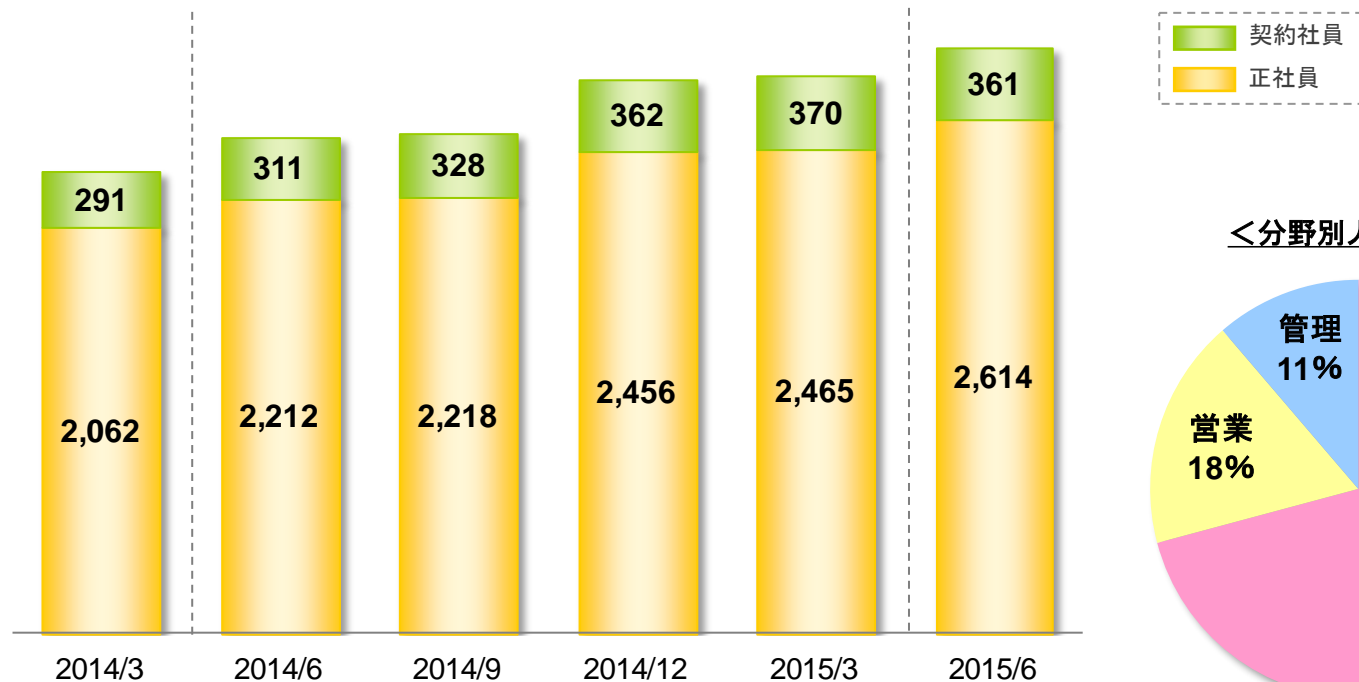
- ◆ 1Q15SI原価: +1,269百万円・+15.3% YoY
 - 1Q15末外注人員数: 985名 (+175名 YoY、+16名 QoQ)
 - 構築案件数・規模拡大で仕入及び外注関連費用増加

II-6. 連結従業員数の推移

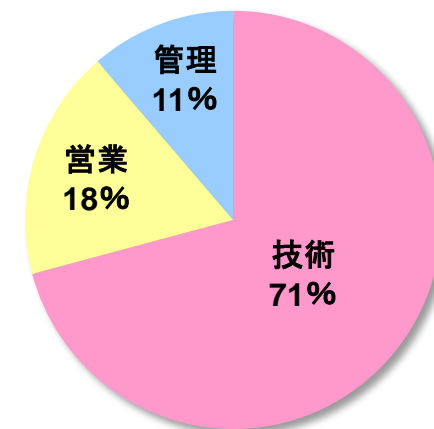
2,353名 2,523名 2,546名 2,818名 2,835名 2,975名
(2015/3末比 +140)

単位: 百万円

YoY=前年同期比



<分野別人員構成>



人件関連費用総額
(売上高比率)

期	4Q13	1Q14	2Q14	3Q14	4Q14	1Q15
総額	4,408	4,641	4,643	4,704	5,114	5,266
比率	(14.0%)	(16.8%)	(15.7%)	(15.3%)	(14.5%)	(16.7%)

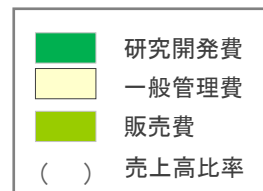
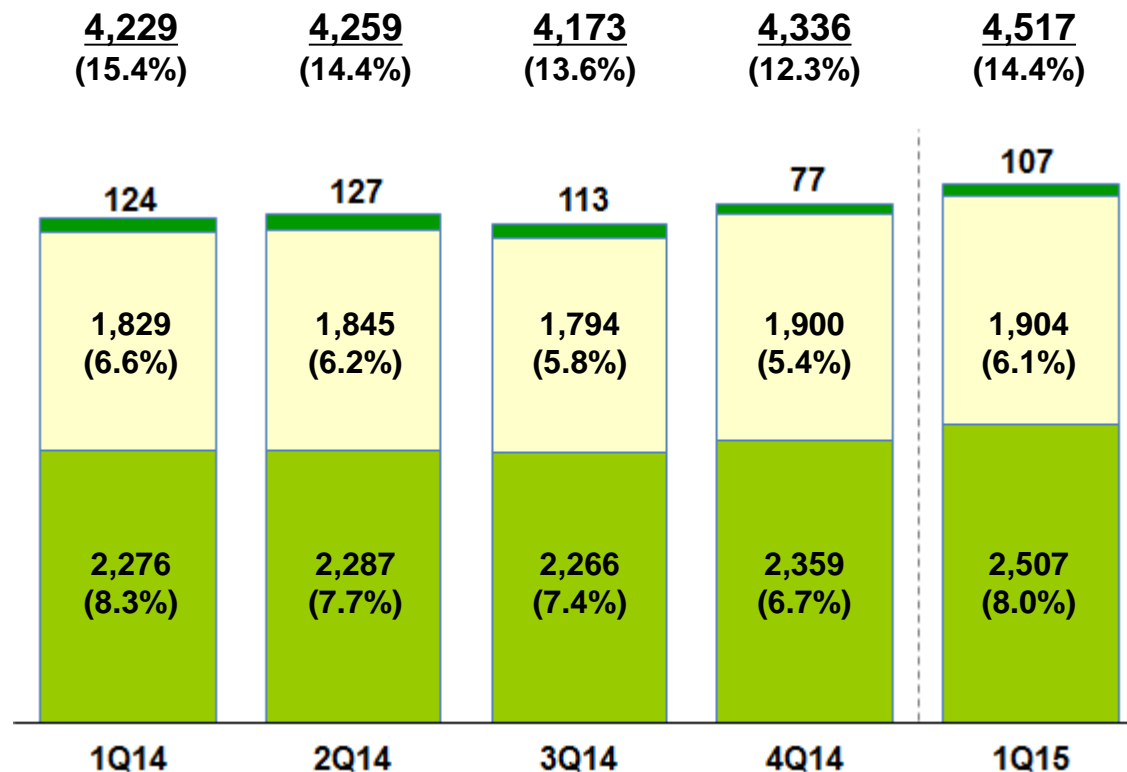
- ◆ 1Q15総人件関連費用: +624百万円・+13.5% YoY
- ◆ 竜巧社ネットワークのM&A(2014年12月1日付)により3Q14従業員数(+264人)・人件関連費用増加
- ◆ 2015年4月入社新卒社員数: 155名(2014年4月 129名、2013年4月 136名、2012年4月 75名)

Ⅱ-7. 販売管理費・研究開発費(SG&A)の推移

単位: 百万円

YoY=前年同期比

FY14: 16,997(13.8%)



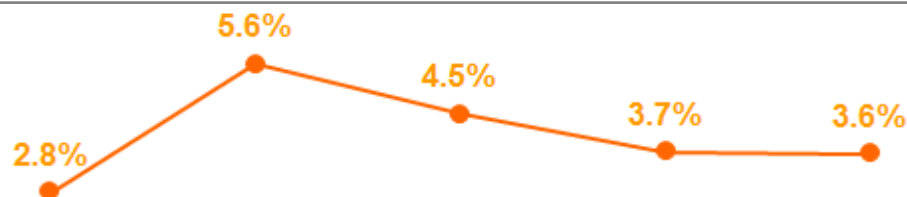
- ◆ 1Q15販売管理費等: +288百万円・+6.8% YoY
 - 人件関連費用、外注人件費、モバイルサービス販売手数料が増加
- ◆ ATM運営事業にかかる販売管理費:
 - 1Q15:44.9百万円、4Q14:73.4百万円、3Q14:45.9百万円、2Q14:45.4百万円、1Q14:37.6百万円
 - 2015年6月末 設置済ATM台数 1,081台

Ⅱ-8. 営業利益・当期純利益の推移

■ 営業利益
 ■ 当社株主に帰属する四半期純利益
 ● 営業利益率

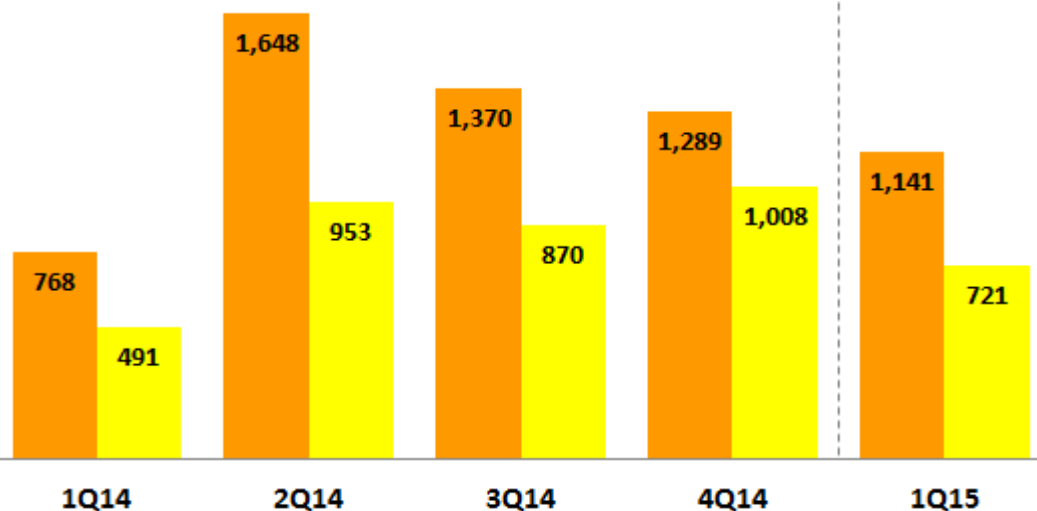
単位: 百万円

YoY=前年同期比



FY14 営業利益: 5,075

FY14 IJに帰属する当期純利益: 3,322



◆ 税引前四半期純利益:

- 1Q15: 1,278百万円
(+451百万円・+54.5% YoY)
 - 受取配当金: 63百万円
 - 為替差益: 27百万円
 - ファンド運用益: 96百万円
 - 支払利息: 57百万円

◆ 当社株主に帰属する四半期純利益:

- 1Q15: 721百万円
(+230百万円・+46.8% YoY)
 - 主としてインターネットマルチフィードに係わる持分法投資利益: 61百万円
 - トラストネットワークス等に係わる非支配持分利益: 57百万円

220	624	523	319	450	法人税・住民税・事業税等
132	98	36	△55	111	法人税等調整額 ※
34	35	46	40	61	持分法投資損益
△18	△24	△15	△18	△57	控除- 非支配持分に帰属する四半期純利益

※ 法人税等調整額の△は 法人税・住民税・事業税等のマイナス

Ⅱ-9. 連結バランスシート(サマリー)の状況

単位:百万円

	2015年3月末	2015年6月末	前期末比増減
現金及び現金同等物	21,094	20,004	△ 1,089
売掛金	22,252	19,181	△ 3,070
たな卸資産・前払費用(短期・長期)	7,835	10,083	+2,248
持分法適用関連会社に対する投資	2,561	2,590	+30
その他投資	6,661	7,067	+406
有形固定資産	29,370	29,745	+375
のれん・その他無形固定資産	10,111	10,015	△ 96
敷金保証金(流動・非流動)	2,800	2,797	△ 3
資産合計	108,705	107,292	△ 1,413
買掛金・未払金	13,626	11,854	△ 1,771
未払法人税等	499	205	△ 294
銀行借入金(短期)	9,250	9,250	-
リース債務(短期・長期)	7,863	7,478	△ 384
負債合計	45,862	44,092	△ 1,770
資本金	25,500	25,500	-
資本剰余金	36,014	36,028	+14
欠損金	△ 556	△ 340	+216
その他の包括利益累計額	1,939	2,005	+66
当社株主に帰属する資本合計	62,504	62,800	+295

▶ 当社株主に帰属する資本比率(株主資本比率):2015年3月末 57.5%、2015年6月末 58.5%

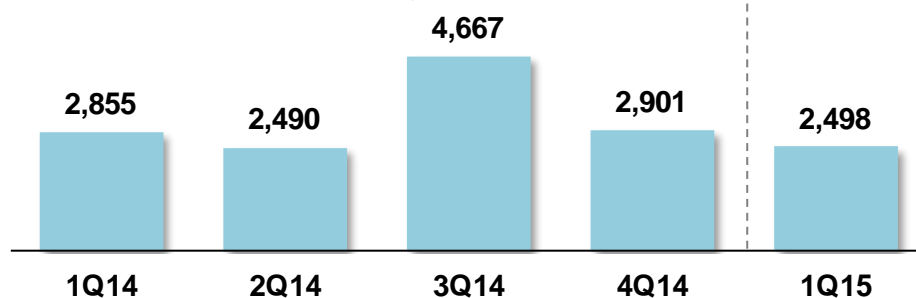
Ⅱ-10. 連結キャッシュ・フローの状況

単位: 百万円

YoY=前年同期比

<営業>

FY14: 12,912

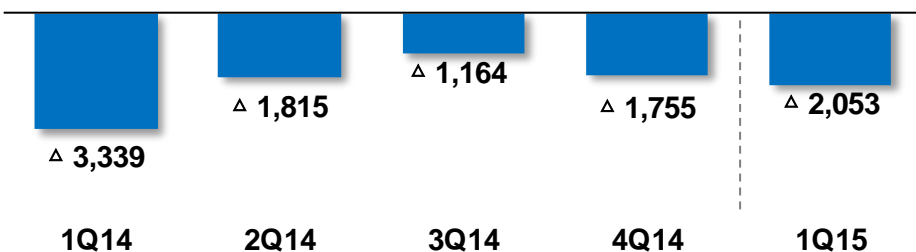


営業キャッシュ・フロー

	1Q15主内訳	前年同期比
四半期純利益	778	+269
前払費用(ライセンス、賞与他)	1,753	△345

<投資>

FY14: △8,073

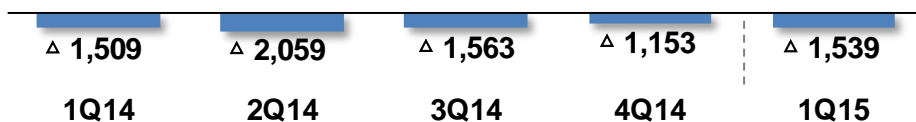


投資キャッシュ・フロー

	1Q15主内訳	前年同期比
有形固定資産の取得	2,370	△434

<財務>

FY14: △6,283



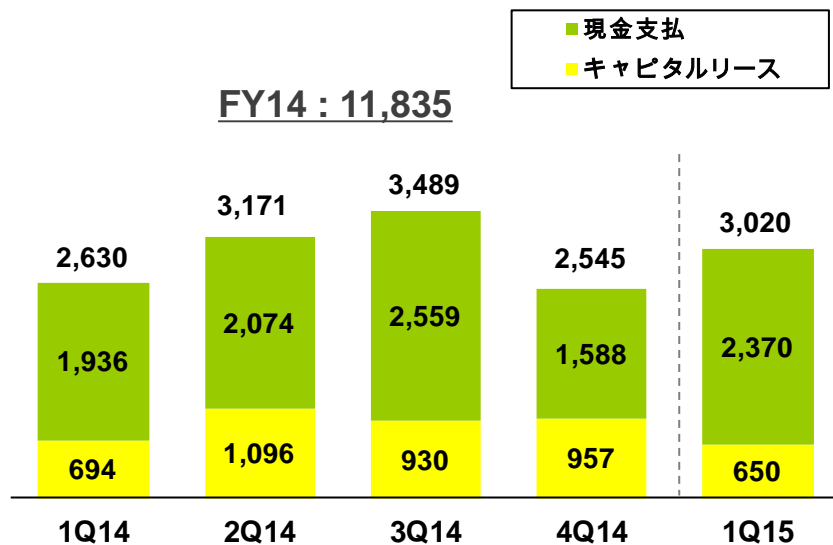
財務キャッシュ・フロー

	1Q15主内訳	前年同期比
キャピタル・リース債務返済	1,034	△30
配当金の支払	505	△0

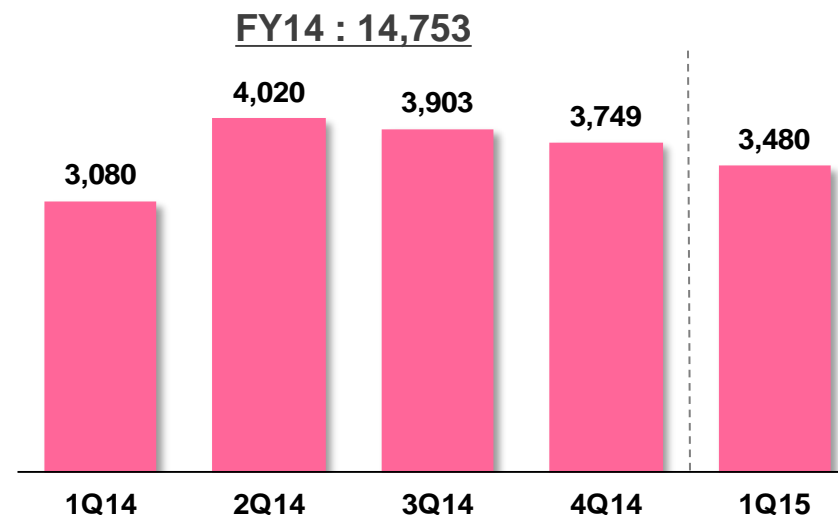
Ⅱ-11. CAPEX・減価償却・Adjusted EBITDA の状況

単位: 百万円

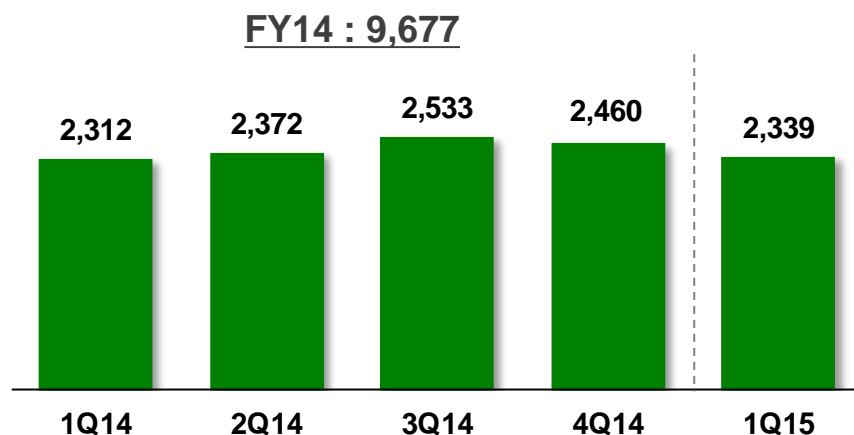
< CAPEX >



< Adjusted EBITDA(償却前営業利益) >



< 減価償却費等 >



Ⅲ-1. クラウドサービスの進展

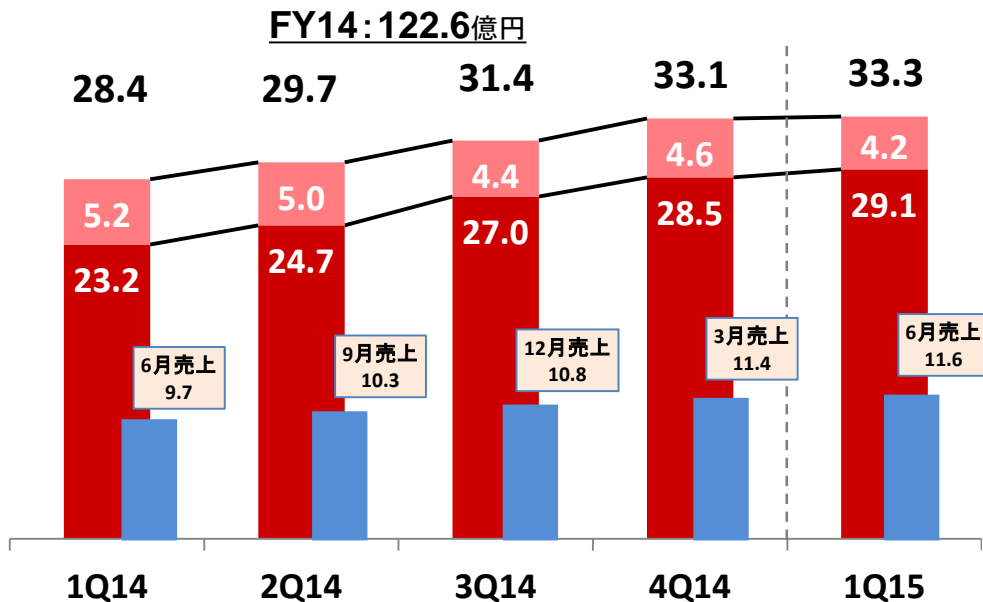
IIJ GIO

クラウド関連売上

(単位: 億円)

- 大口ゲーム顧客
- 一般事業法人顧客

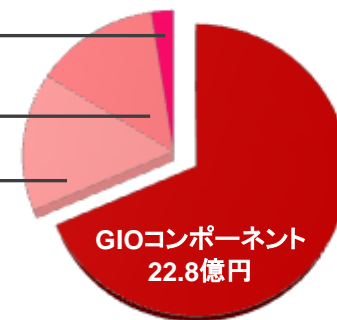
1Q15クラウド関連売上計上区分: 85% SI運用、15% アウトソーシング



1Q15売上内訳

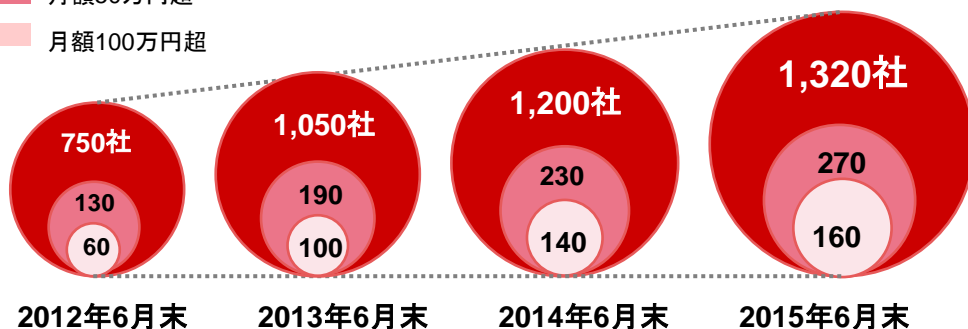
(単位: 億円)

- 汎用アプリSaaS 0.8
(サイボウズガールズSaaS他)
- 特定業務SaaS 4.6
(FX, POS等)
- GIOホスティング 5.1



顧客基盤

- 月額50万円超
- 月額100万円超



事業進捗

- **1Q15売上:**
 - ✓ 大口ゲーム系顧客の売上減、年度替わり時の売上減
 - ✓ FX取引量に応じて、FX売上増加
- **新クラウドサービス:**

「IIJ GIO インフラストラクチャー P2」を開発、2015/10より提供開始予定。独自開発のSDN製品及びクラウドオーケストレーター^(※)採用で、システム拡張性を向上し、柔軟なシステム構築を実現
- **ビッグデータビジネス:**

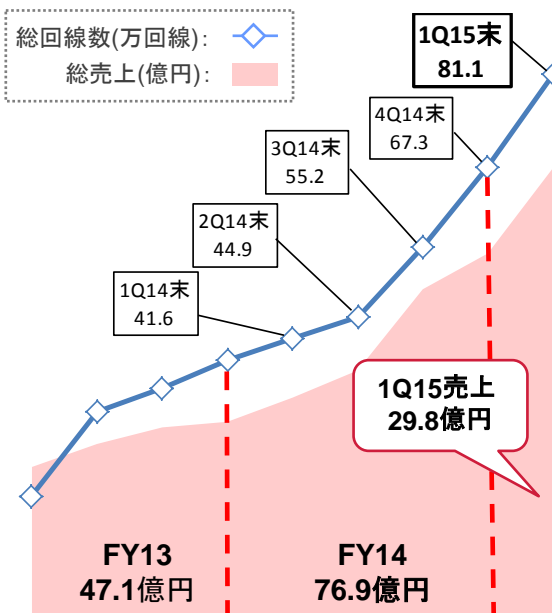
運輸企業向け運行業務データ可視化案件など受注積上
- **SAPビジネス:**

協業パートナー経由案件中心に継続積上げ

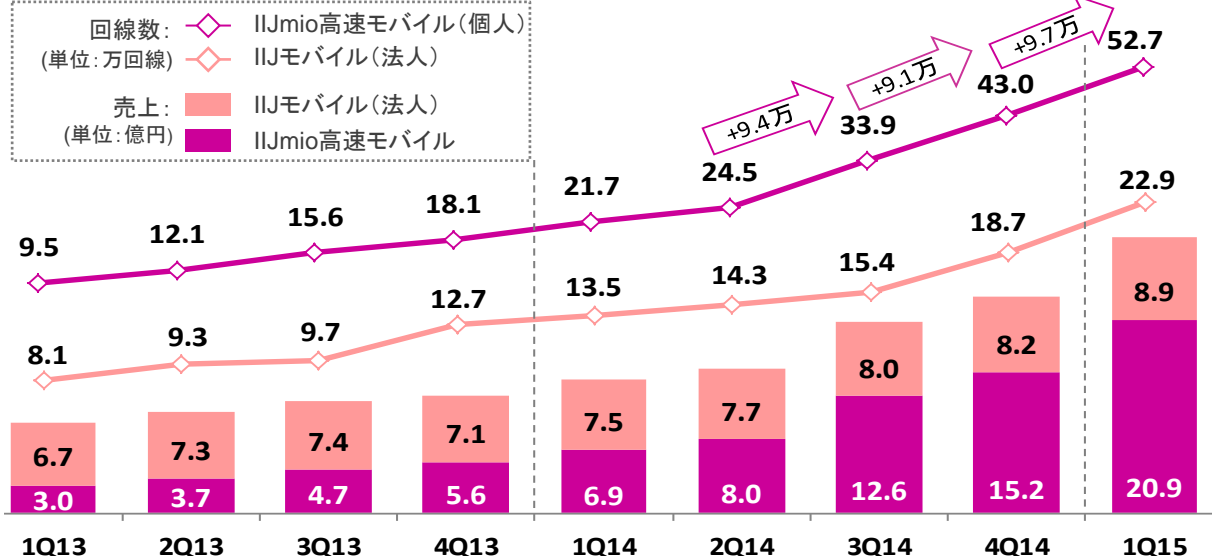
(※)クラウドオーケストレーター: 仮想サーバー等の複雑なコンピュータシステムの配備、設定、管理などの自動化を指す言葉

Ⅲ-2. モバイルサービスの進捗

モバイル総回線数・総売上



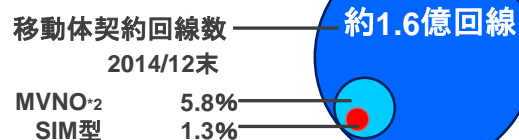
IIJmio高速モバイル・IIJモバイルの回線数・売上



1Q15より、過年度分含め「IIJ モバイル MVNO プラットフォームサービス」の回線数(除くhiho分) (“MVNE回線数”)を、法人モバイル回線数に加算。
【MVNE回線数推移】1Q14: 3.5万回線、2Q14: 3.6万回線、3Q14: 4.0万回線、4Q14: 6.7万回線、1Q15: 10.4万回線

市場環境

- MVNO認知度向上*1 *1(出典)総務省 14/4、15/4
✓2014/12 69.5% (+20.1ポイント YoY)
- SIMロック解除
✓端末購入後6ヶ月間の解除制限があるため、2015/11以降に影響発生の予想
- 日本のモバイル市場*1



*2 MNOを除くMVNO

個人

- 1Q15獲得回線数継続伸長
✓料金据置・データ通信量増量の新料金プラン開始 (2015/4~)、BIC SIMカウンター店舗拡大(8/7現在35店舗)、1Q生活需要等より続伸
- 設備増強等により高い通信品質・満足度維持
✓ICT総研他多数にて顧客満足度1位獲得
- 新たな事業展開 (2015/7より順次開始)
✓イオン全国209店舗でMNP即日対応受付開始
✓端末販売「IIJmio サプライサービス」開始
✓訪日外国人向プリペイド型SIMカードラインアップ拡充

法人

- MVNE需要引続き活況 YoY: 前年同期比
✓1Q15関連売上: 3億円強(+248.7%YoY)
✓1Q15末回線数: 10.4万回線(+6.9万回線YoY)
✓ケーブルテレビ事業者順次サービス開始、大手コンテンツ事業者なども継続伸長
✓運用技術、安定性等が評価されMM総研大賞2015MVNEサービス分野最優秀賞を受賞
- 車両搭載、監視カメラ案件等を中心にM2M案件積み上げ
✓関連売上: 約1.2億円(+2割弱 YoY)

※ 事業等のリスク

本資料には、1995年米国民事訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の「セーフハーバー」規定に定義する「将来性の見通しに関する記述 (forward looking statements)」に該当する情報が記載されています。本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。現時点において想定しうる当社グループの主なリスク及び不確実性として、

- 1) 国内景気の低迷、経済情勢の変化等による企業のシステム投資及び支出意欲の低下、
- 2) サービスの利用が想定よりも進展しないまたは縮小することによる設備投資規模に対する収益性の悪化、
- 3) サービスの中断等による当社グループのサービスへの信頼性の低下及び事業機会の逸失、
- 4) ネットワーク関連費用、モバイル接続料、外注費、人件費等、費用規模の想定を超える増加及び変動、
- 5) リソース不足に起因する事業規模拡大の機会の逸失、
- 6) 競合他社との競争及び価格競争の進展、
- 7) 投資有価証券、営業権等ののれん資産の価値変動及び実現

等がありますが、これら及びその他のリスク及び不確実性については、当社グループまたは当社が、1934年米国証券取引法 (Securities Exchange Act of 1934)に基づき米国証券取引委員会に届出し開示している英文年次報告書(Form 20-F)及びその他の書類をご参照下さい。

※ お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ (財務部)

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム

TEL: 03-5205-6500 URL: <http://www.iij.ad.jp/ir> E-Mail: ir@iij.ad.jp



Internet Initiative Japan